

# 西東京都市計画道路3・4・9号線 (西東京市中町六丁目～ 同市北原町二丁目)

令和5年 7月10日(月)

建設局道路建設部

# 目次

1. 事業概要	.....	1
2. 社会経済情勢等の変化	.....	5
3. 事業の投資効果	.....	7
4. 事業の進捗状況と見込み等	.....	11
5. コスト縮減等	.....	14
6. 対応方針(原案)	.....	15

# 1. 事業概要(1)

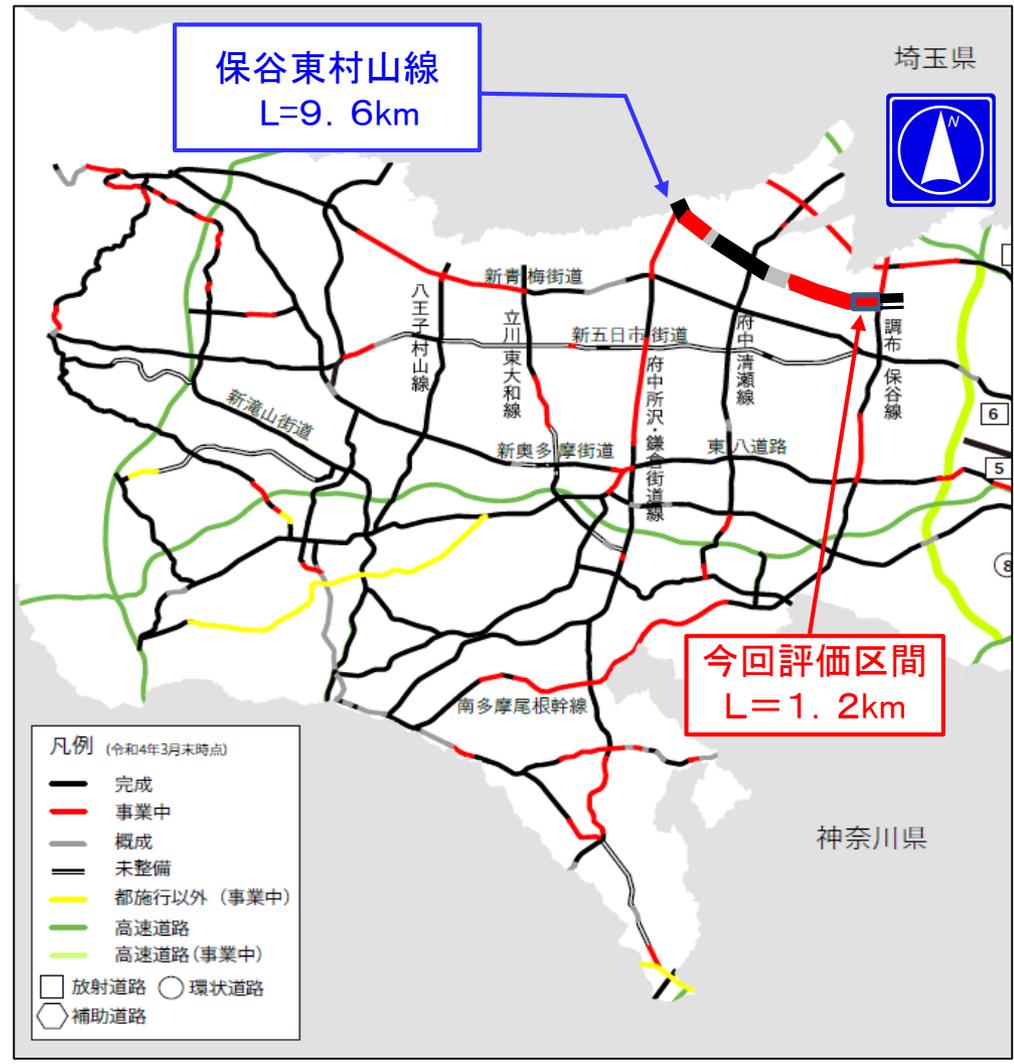
## [全体概要]

路線名: 保谷東村山線  
 区間 : 西東京市中町～  
 東村山市秋津町  
 延長 : 約9.6km

## [今回評価区間]

区間: 西東京市中町六丁目～  
 北原町二丁目地内  
 延長: 1.2Km  
 幅員: 16m(2車線)  
 事業費: 約85億円

年度	計画等
昭和42年5月23日	都市計画決定
平成27年1月26日	事業認可取得
令和10年3月31日	事業認可期間



# 1. 事業概要(2)

## 今回評価区間周辺の概要



## 同一路線の沿道状況

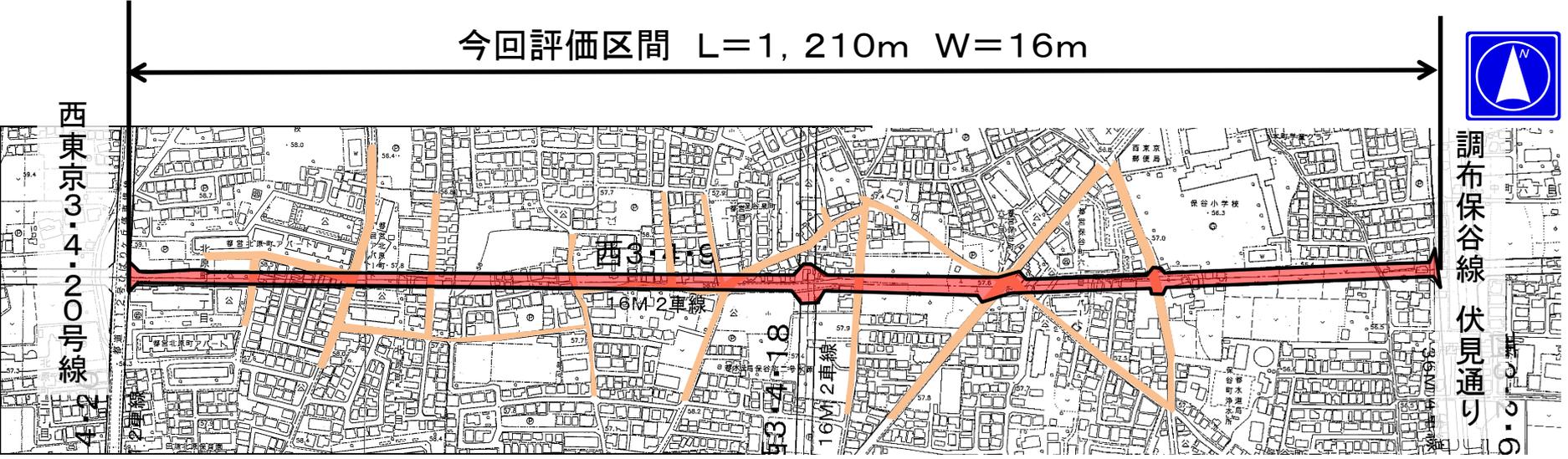


## 事業の効果

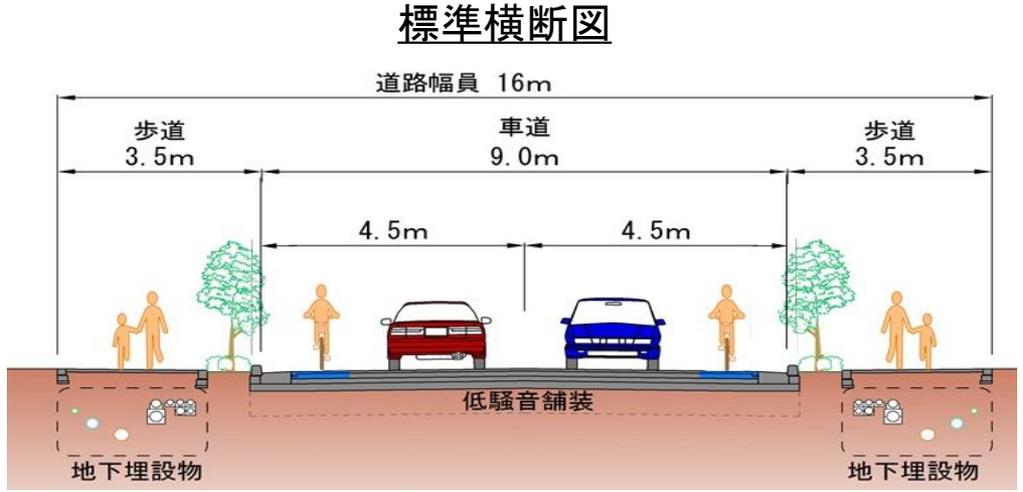
- 所沢街道の交通円滑化や北原交差点の渋滞緩和
- 広域避難場所(東大生態調和農学機構・田無演習林)へのアクセスが高まり、地域の防災性が向上
- 電線類の地中化や街路樹の植栽により、良好な都市景観を創出

# 1. 事業概要(3)

平面図



横断図



# 1. 事業概要(4)

現況



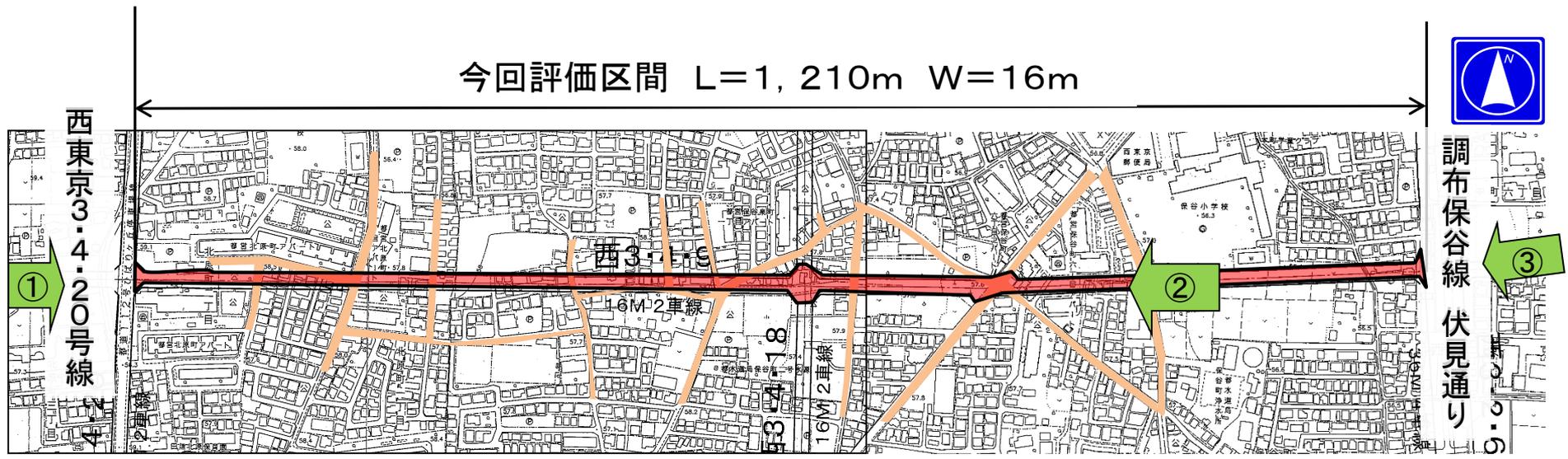
起点



中間部



終点



# 2. 社会経済情勢等の変化

## 社会経済情勢の変化

本路線周辺の平成27年度の現況交通量は、平成22年度と比較して、横ばいとなっている。  
 現況自動車交通量【所沢街道】(道路交通センサスによる)  
 平成22年度:10,340台/12h、平成27年度:9,482台/12h



### 関連する他事業等の進捗状況の変化

番号	路線名	交通開放日
①	西東京3・4・9 I 期	令和3年8月2日
②	西東京3・4・9 I 期	令和3年9月10日
③	東村山3・4・18及び 西東京3・4・26号	令和4年1月14日

凡例

- 事業中
- 完成・概成
- 令和3年度交通開放

# 3. 事業の投資効果

## 定量的効果

### 【便益(B)の算定】

現在価値化総便益	145.0 億円
走行時間短縮便益	132.4 億円
走行経費減少便益	10.5 億円
交通事故減少便益	2.1 億円

### 【費用(C)の算定】

現在価値化総費用額	84.2 億円
工事費	40.1 億円
用地費	44.7 億円
維持管理費	4.4 億円

※費用便益分析マニュアル(国土交通省 令和4年2月)に基づき分析

### 【費用便益比(B/C)の算定】

$$\underline{B/C = 1.7}$$

# 3. 事業の投資効果(2)

## 定性的効果

	事項	該当
交通	交通渋滞の解消	○
	物資流動円滑化への寄与	○
	バスの定時性	
	迂回交通の減少	○
景観	都市景観の向上	○
防災	緊急車両の走行	○
	延焼遮断	○
	災害時の避難路の確保	○
	消防活動困難地域の解消	

	事項	該当
くらし	土地利用の転換・高度化	
	交通不便地域の解消	
	商業・産業の活性化	◎
	公共施設へのアクセス向上	◎
安全	交通事故の減少	○
	バリアフリー化	○
	自転車や歩行者のための空間確保	○
	その他	

※該当欄の◎は次頁以降に概要あり



# 3. 事業の投資効果(4)

## 定性的効果

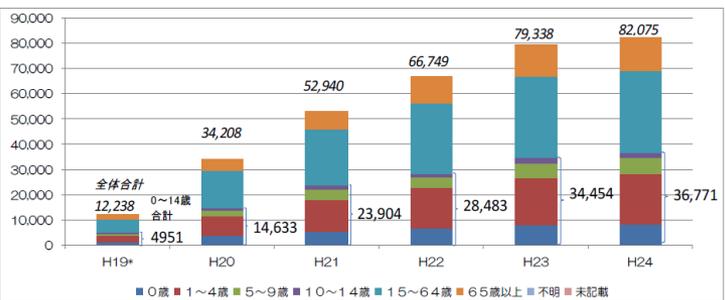
- <くらし> ・公共施設へのアクセス向上
- <防災> ・緊急車両の走行

北多摩北部圏域における小児科を有する一般病院・標榜する診療所の数

		平成18年 (2006)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)
一般病院	北多摩北部	15	14	15
	小平市	4	4	4
	東村山市	3	3	3
	清瀬市	6	5	4
	東久留米市	-	-	1
西東京市	2	2	3	
診療所	北多摩北部	137	122	112
	小平市	37	36	31
	東村山市	29	25	19
	清瀬市	8	10	8
	東久留米市	19	18	15
西東京市	44	33	39	



東京消防庁救急相談センター (#71119) 相談件数と対象者の年齢 (単位: 件)



出典: 東京消防庁提供資料  
※ 平成19年7月から12月までの数値

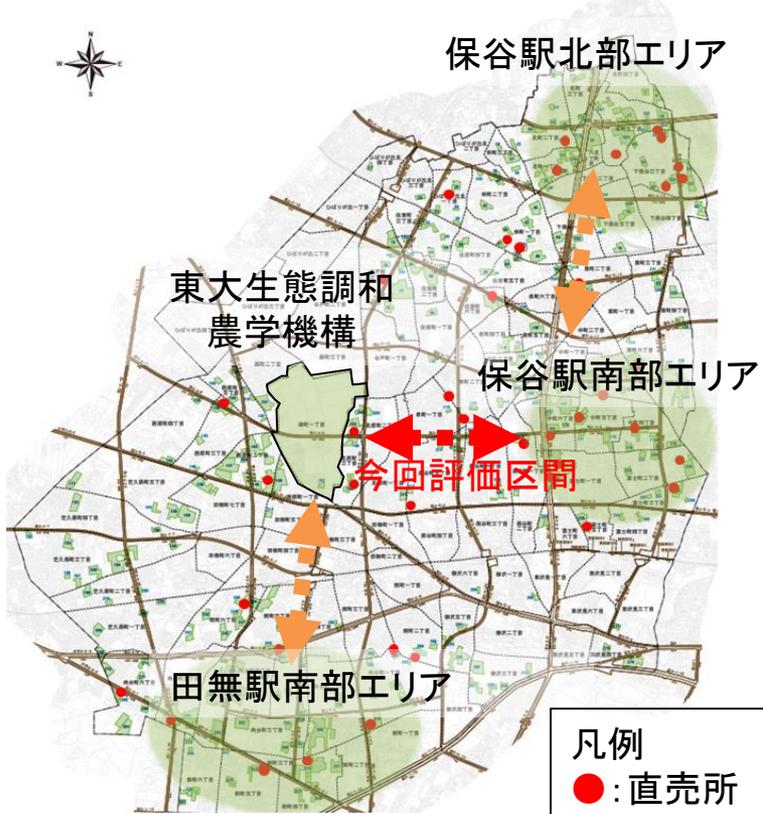
北多摩北部保健医療圏は5市で医療体制を構築  
**圏内の小児科診療所は減少も**、救急相談は増加  
 夜間の小児救急医療は公立昭和病院・**多摩北部医療センター**が担う  
 本路線の整備により、圏内の東西のアクセス性が向上

出典:  
 ・H30~H35年度 北多摩北部地域保健医療推進プラン  
 ・東京都における小児初期救急医療体制について

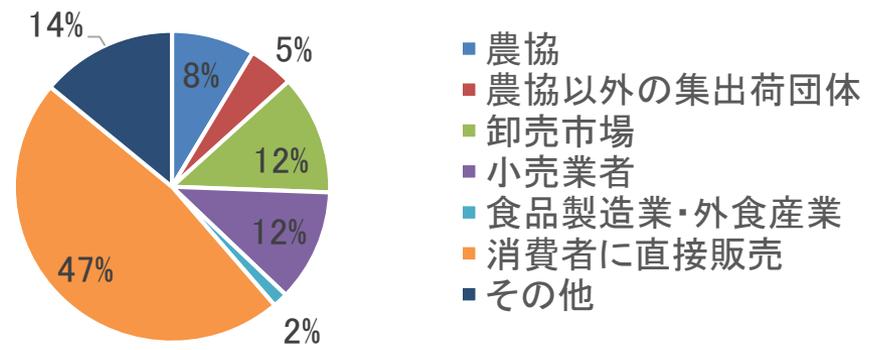
# 3. 事業の投資効果(5)

## 定性的効果 <くらし> ・商業産業の活性化

- 西東京市: 農地や公園などのみどりと住宅が調和した住宅としての魅力を形成
- 市は今後もみどりを基調としたまちづくりを志向  
⇔ 宅地化の進展等により農地等のみどりは減少傾向
- 農地等の保全に向けては、農業が『業』としての確立されることが不可欠。  
市内農産物を購入できる機会を増やすなど、収益力を高めていく必要あり  
(出典: 西東京市産業振興マスタープラン 後期計画)



西東京市内の農産物売上1位の出荷先別経営体数の割合



出典: R2 東京都農林業センサスより東京都建設局作成

- 市内には生産緑地地区等の農地が集積するエリアが複数存在
- 道路整備により、こうしたエリア間が結ばれることで、**直売所等へのアクセス性が向上**
- **市が志向するまちづくりへ貢献**

出典: 西東京都市計画生産緑地地区指定図 令和4年12月5日告示  
及び西東京HPより東京都建設局作成

## 4. 事業の進捗状況と見込み等(1)

### 事業費の執行状況

(R4年度末時点)

	用地費	工事費	合計
全体事業費(百万円)	6,877	1,623	8,500
執行済額(百万円)	5,370	54	5,424
執行率(%)	78.1	3.3	63.8

### 用地取得状況

取得予定面積 (A)	既取得面積 (B)	用地取得率 (B/A)
17,464m <sup>2</sup>	11,296m <sup>2</sup>	64.7%

## 4. 事業の進捗状況と見込み等(2)

### 一定期間を要した背景等

- 権利者多数の共有私道やアパートのほか、相続問題など関係権利者それぞれの課題があり、用地折衝に時間を要している。

現況



事業区間(アパートなど)

### 残事業の取り組み及び進捗の見通し等

- 事業の必要性や補償の考え方について丁寧に説明するなど、関係権利者の理解と協力を得ながら早期の用地取得に努めている。
- 用地取得及び関係機関との協議状況を踏まえて、順次工事を実施していく。

# 5. コスト縮減等

## 新工法、事業手法、施設規模等の見直しの可能性

- 一般的な街路築造工事であるため、施工にあたって、新工法、事業手法、施設規模等を見直す可能性は極めて少ない。

## コスト縮減等の取組

- 施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用を行っていく。
- 無電柱化にあたっては、東京都無電柱化計画(R3.6改定)を踏まえ、新材料等を積極的に活用し、コスト縮減に取り組む。
- 中温化アスファルトの原則活用を通じ、二酸化炭素の排出量抑制に繋げる

【埋設深さの浅層化】	【新たな管路材料の採用】
<p>埋設深さの改定により、土工にかかるコスト縮減や作業時間の短縮を実現</p>	<p>従来のCCVP管より安価なECVP管や施工性も考慮した角形多条電線管への移行</p>

**HTT** HTT 株式会社  
Tokyo, Tokyo

### 低炭素アスファルトとは

アスファルト混合物

アスファルト + 骨材 + 水蒸気

**通常と比べ製造時の加熱温度を10~30℃下げ、CO2排出量を削減 (-30℃の場合、-2.7 (kg-CO2/t))**

## 6. 対応方針(原案)

### (事業の必要性等に関する視点)

- 交通の円滑化が図られ、北原交差点の渋滞が緩和される。
- 広域避難場所(東大生態調和農学機構・田無演習林等)へのアクセスが高まり、地域の防災性が向上する。
- 電線類の地中化や街路樹の植栽により、良好な都市景観を創出される。
- 道路整備による定性的効果(公共施設へのアクセス向上・商業・産業の活性化)

### (事業の進捗の見込みの視点)

- 約65%の用地を取得済みであり、未取得用地の早期取得を目指し、各画地毎に必要な事務・折衝を進め、工程に支障が生じないように努める。
- 用地取得及び関係機関との協議状況を踏まえて、順次工事を実施していく。



### 対応方針(原案) 継続

- 以上より、西東京3・4・9号線は、事業の必要性が高く、早期の効果発現を図ることが適切。
- 中止の場合は、事業効果を発現できないだけでなく、これまでの投資に見合った整備効果も得られなくなる。